

ウイルかわら版

will

平成二三年
五月

第二一号

編集 吉澤 隆
と ウイルさいたま
吉澤企画の皆さん

今月も被災地のお話です。さっそくお願いがあります。支援物資として、「喪服」を探しています。男性女性、サイズも問いません。ワイシャツや靴もあれば幸いです。事情については裏面をご覧ください。発送が遅くなりました。すぐ6月号が届くかと思えますがよろしくお願いします！

今月は、震災後2か月目に入つて変化の見えてきた被災地の支援活動について、ちょっと感動したことがありますので、ご報告します。

先月号でも被災地支援について触れましたが、その後、4月20日21日には5度目になる物資輸送に行ってきました。

被災地の状況は日々変化していきますので、必要とされるものが変わってきています。

ですので、こちら側で勝手に集めたものを届けるのではなく、現地に根を下ろして支援活動をしている方たちと連絡を取りあい、彼らの求めるものを調達する方が、活動としては良いのではないかと思います。

で、4度目のときに被害の大きかった石巻で支援活動を行っている方に聞いたところ、なんと「軽トラック」が欲しい、とのことでした。撤去した瓦礫の運搬から食

料の配送まで、現地では重宝されているそうです。

いやいや、軽トラと言われても・・・苦笑いして帰ってきました。でも探さないのも申し訳ないなんていう思いから、かわら版やブログ・メールなどで発信してみました。



三井美代子さんがくださったバイク



中村畜産さんの冷蔵庫付軽トラック

すると！世の中捨てたものじゃないですね。驚いたことに、ふたを開けてみると軽トラックが二台、ミニユニボ（シャベルカー）が一台、原付バイクが一台！これだけのものを寄付してくださる方がいらっしやいました。



高山隆さんの軽トラ四駆、幌付き！



鈴木厚志さんのミニユニボ！！

一人じゃ大したことができませんが、人の力が集まると想像を超

えることが起こるのですね！ありがとうございました。

あわせてまた、フィンランドのお母さんたちから赤ちゃん向けのミルクが送られてきたので、スタッフと一緒に成田に引き取りに行き、被災地へと向かいました。



成田空港に到着！



ミルクには手書きの応援メッセージ

今回の目的地は、石巻→東松島→宮城野→栗原→気仙沼と一日で千キロコースです。まず石巻に車両たちをお届けし、そこから点々とミルクや水、その他の物資をお届けして回り、最後に気仙沼の避難所で、同行してくださった沼津の小野博文さんがマジックシヨールを、鈴木一成さんがお芝居の余興をして下さいました。避難所で暮らしている方から、久しぶりに良く笑った、とお言葉がありました。良かったです！（撮影は控えさせていただきます。）

次回は6月上旬に再訪する予定です。一旦は土葬を余儀なくされたものの、火葬場が復旧してきたので、改めて火葬をしたいという方が増えているそうです。しかし家が流されてしまった方などは、喪服すらなくて困っているといえます。男女用とも喪服を余らせている方、ウイルまで是非ご連絡をください。



料金後納

ゆうメール

レイノルズ博士 ありがとう！

私の師匠、コンストラクティブ・リビング（CL・建設的な生き方）の提唱者であるD. K. レイノルズ博士は、30年間春と秋の6か月を日本で過ごされていましたが、この6月より、70歳を機にアメリカに戻り、定住することになりました。

それに伴い日本で16年間行われてきたインストラクターの教育や国内学会の活動も今年の6月から縮小されることとなります。その分、これからは私たちが身の回りの方に伝えていかなければいけないようになります。

日本の森田療法と内観法という精神療法をもとにレイノルズ博士が創案したCLの手法は、余命宣告を受けたような方や、大切な人を失った方にも役に立つと考え、私たちウィルでは、学び取り入れてきました。

自分の意思ではどうにもならないような不安や悲しみ、老病死、過去のことで悩んでみたり。また、まわりの人が自分の思っているようにしてくれない、などと言って苦しんでいるような方っているといます。

そんな方たちが、物の見方や考え方の癖に自ら気づき、新たな建設的な行動に踏み出すための

ちよつとしたヒントをお伝えするのが、私たちインストラクターの仕事なのです。

大宮でも毎月一度、私たちウィルさいたまのサロンで「建設的な生き方を学ぶ会」を開催しています。まだまだ未熟なインストラクターですが、私たちがウィルでの体験を通して気づいたお話を聞きながら、皆さんと一緒に学び考える時間を持てたら幸いです。

私たちは葬儀社ですので、「死」というテーマが切っ掛けではないようなイメージがあると思いますが、実際は家庭や学校、会社の中で起こる問題についてお話しすることの方が多いですよ。是非お気軽にお越しください。

5月14・15日には、千葉の幕張でNACL（国内学会）とレイノルズ博士の講演会を開催しました。



シニアユニバーシティさんで講演をさせていただきました

5月6日、以前にウィルの家族葬セミナーにご参加くださった、田中タイさんご紹介で、家族葬に関する講演をさせていただきました。

した。当日、コミセン浦和の9階にある会場に集まってくれた参加者は100名近く。とても明るく活気のある皆さんでした。

シニアユニバーシティとはどんな団体？という方のために、ちよつと説明します。

正式には「さいたま市シニアユニバーシティ」といって、さいたま市に住む60歳以上の方を対象に、生涯学習や、積極的な社会参加と学生間の親睦と交流を図ることで生きがい高め、地域での活躍の道を開くことを目的としている・・・そうです。案内書の受け売りですみません！（汗）地域別にさいたま市内に6校、一期合計644名の生徒を募集しているそうです。授業料は無料（資料代三〇〇〇円）とのことで、

お手軽なのになかなか内容が濃くかつ皆さんを見る限り、とても楽しそうでしたよ。学習期間は一年なのですが、卒業後も交友会という卒業生の会があり、毎月集まり事を続けることができるのだそうです。

さいたま市在住のかわら版読者の皆さんにもお勧めです！

今回は、その東浦和校の第七期交友会の皆さんの活動に参加させていただきました。朝からお葬式の話で申し訳ないな〜など思いましたが、皆さん真剣にお話を聞いてくださりました。ありがとうございませう。

私たちが普段開催している「終活講座」の方では独居老人と孤独死の問題にも触れますが、こういった会に参加したり運営している皆さん

は、独居となろうとも孤独にはならないだろうな〜と思いました。いくつになってもいろんなことに関心を持ち、多くの仲間をもって。良いですわね！
講演を通して私の方も一緒にすっかり楽しませていただきました。



6月の建設的な生き方を学ぶ会
 6月6日(月) 18時半～
 さいたま建設的な生き方を学ぶ会
 (大宮、ウィルいさいたま)
 ※ウィルの吉澤が主催しております

6月6日(月) 13時半～
 横浜建設的な生き方を学ぶ会
 (磯子区総合庁舎内磯子公会堂会議室2)
 ※横浜在住の素敵な奥様達が主催してます
 ～お申込みはお電話で～
0120-797-739

吉澤隆、5月27日現在で72.5キロです。4月是不摂生から逆に増加していた体重を4キロほど減らすことができました♪目指すは69キロ台！